

美川っ子

R4. 10. 24 文責 大達高弘

美川小学校開校150周年



10月21日（金）、美川小学校開校150周年記念事業を行いました。学校に残る記録によりますと、明治5年の学制発布にあわせる形で内村に学校が開校され、それから今年がちょうど150年目の節目の年にあたります。そこで、その節目にあたり、記念事業を行いました。美川小学校はこれから先もこの美川の地にいつまでも在り続けるはずですので、この150という数字も通過点に過ぎません。また、コロナ禍において大勢の人を招いて大々的に行うわけにもいかないため、式典という形ではなく、美川小学校にかかわるたくさんの方々と一緒にこの節目を祝いたい、みんなで何かを一緒に作りあげたい、参加したすべての方々にとって思い出に残るものにしたいと願いを込め、今回の記念事業を計画しました。

当日は、今年度で最後となる鼓笛隊による校歌の演奏に合わせて、参加者全員で校歌を歌いました。世代を超え、小学生から地域にお住まいの大先輩までと一緒に校歌を歌えたことが嬉しかったです。伝統ある美川小学校鼓笛隊のしめくり、そして開校150周年の記念にふさわしい演奏になりました。



鼓笛隊による演奏の後、内村の横坂秀文様にご協力いただき、校庭に描いた人文字をドローンで撮影しました。子ども、教職員、保護者、地域の皆様みんなで人文字を作りました。まさに、美川小学校の合言葉【み・か・わ ～みんなが かがやく わたしたちの学校～】を感じることができました。この美川小学校が、これからもずっとずっと【み・か・わ】で在り続けられますよう、これからも皆様方の温かいご支援・お力添えをよろしくお願いいたします。

ふるさと美川での【学びの秋】

学問の秋、芸術の秋、食欲の秋、スポーツの秋。皆様はどのような秋をお過ごしでしょうか。美川小学校では【学びの秋】真っ盛りです。

この美川の地には、子どもたちが豊かな学びをすることができる本当に素敵な【ひと・もの・こと】がたくさんあります。こんなに素晴らしい環境に恵まれているわけですから、これを活用しない手はありません。コロナ禍ではありますが、子どもたちの「豊かな学び」を止めないという思いから、各学年、積極的に校外へ出かけ、教室ではできない体験をたくさんしました。



3年生：柿農園見学



3年生：扇原茶園見学



2年生：まち探検



6年生：スケッチ会（八幡宮）

学校を飛び出し、現地に行き、実際にその場の空気を感じます。そして、自分の五感を働かせ、【ひと・もの・こと】に関わりながら実際に体験します。この実体験が、子どもたちの感性を磨き、知識だけではなく、様々な気付きや発見をもたらしてくれます。どんな小さなことでも、実際に体験してみるのとしてみないのでは、大きく違います。自分で体験して初めてわかること・知ることがたくさんあると思うのです。校外学習から学校に帰ってきた時の子どもたちの表情が輝いているのは、教室ではできないたくさんの「豊かな学び」をした満足感・充実感の表れなのかもしれません。

右の写真にある看板をご存じでしょうか。実は、この看板は本郷橋のもとに立っているものです。おそらく、随分前からこの場所に立っていたのだと思うのですが、私自身、気に留めてじっくり見たことはありませんでした。しかし、上述しましたように、子どもたちが地域に飛び出し、地域の【ひと・もの・こと】に関わりながら豊かな学びをさせていただいているこの恵まれた環境を思う時、まさにこの看板の通りだと感じるのです。



子どもたちの校外学習に際して、それぞれの場所で温かく、優しく、子どもたちの学びにご協力くださいました地域の皆様、本当にありがとうございました。今後とも、どうぞ美川小学校の学校教育充実、子どもたちの豊かな学びにお力をお貸しください。

校内体操演技発表会

2学期に入ってから校内では、体育の時間に器械運動（マット・跳び箱・鉄棒）の学習が始まり、子どもたちは技能を高めてきました。特に5・6年生は、浜田市小学校体操競技大会に向け、体育の時間だけではなく放課後も利用して練習に取り組みました。大会に出場できる選手には限りがあります。そこで、5・6年生全員の成果発表の場として、10月17日（月）に校内体操演技発表会を行いました。

当日は大会さながらの緊張感漂う体育館で、5・6年生一人一人が自分で選んだ技を精一杯披露しました。これまでの練習の成果を發揮しようと、本気で、そして全力で演技する姿は輝いていました。また、演技を見守る1～4年生は目をキラキラさせながら、5・6年生の演技を食い入るように見ていました。きっと5・6年生のかっこいい姿に憧れを抱き、いつか自分もあんな風になりたいと思ったことと思います。

演技する者も、見る者も、全員が本気で取り組んだ素晴らしい発表会でした。



第17回浜田市小学校体操競技大会

10月19日（水）、新型コロナウイルス感染症のため2年間中止されていた浜田市小学校体操競技大会が3年ぶりに開催されました。コロナ禍ということで、無観客・規模縮小での大会でしたが、それでも市内16校の小学校から200名を超える選手が集まったので大会でした。美川小学校は5・6年生全員が会場である県立体育館に行き、選手または児童役員として活躍しました。

選手は会場の広さ・大きさ、また多くの人に見られる緊張感に負けることなく、しっかりと自分のもてる力を發揮しました。中には力を出しきれなかった選手もいたようですが、それも貴重な経験だと思います。また、児童役員として大会を支えてくれた子どもたちは、しっかりと自分の責任を果たしてくれました。選手だけでなく児童役員も含めて、美川っ子一人一人が本気で取り組んだ体操競技大会でした。



★体操競技大会入賞者★

○男子マット	渡邊 凜旺	9.0	銀賞
○男子鉄棒	松岡 樂	8.4	銅賞
	川神 蓮	8.35	銅賞
○女子鉄棒	田中凜緒奈	8.45	銅賞

いざという時に備えて

幼小中合同避難訓練

10月12日（水）、2学期の避難訓練を行いました。今年度も昨年度同様、幼小中合同での避難訓練でした。校庭にある第一次避難場所まで避難したのち、地震発生にともなう津波警報が出されたという想定で、第二次避難場所である四中の2階へ移動しました。避難訓練は学期に1度実施しますので、私にとっては、校長として昨年度から数えると5回目の避難訓練でした。子どもたちは、全員真剣に取り組みました。避難時の姿から【本気】が伝わってきました。大切なことは、こういう練習・訓練時にどれだけ本気になれるかだと思います。本気になるためには、避難訓練の意味を正しく理解しないとイケません。そして、理解したことをきちんと行動に移すことが大切です。学校教育の成果は決して学力の育成だけではありません。この日、子どもたちが見せてくれた正しい判断力や行動力もまさに日頃の教育の成果だと思うのです。充実した合同避難訓練となりました。

【避難訓練後の児童の振り返りより】

- 今日ふざけていたら、本当に地震がきた時に自分の身を守ることができないとみんなが思っていて、自分の身を守りたいから、静かに素早く避難ができたんだなと思いました。
- 今日、避難訓練で、静かに並ぶことができてよかったです。真剣に避難訓練ができてよかったです。避難訓練で、しっかり訓練することは大事な事だと思いました。
- 避難訓練の時、本当の地震のように、机の下にすぐに入り、すぐに並んで、むだ話をせずに、ふざけないで、真剣に取り組めたのでよかったです。

11月の主な行事

- 1日（火）しまね教育の日
- 2日（水）SC来校日（PM） 食の学習（2年）④
- 4日（金）クラブ⑥
- 9日（水）浜田市小中連合音楽祭（3・4年生参加）
- 10日（木）全校朝礼 外国語 就学時健診（PM）
- 11日（金）委員会⑥
- 15日（火）全校テスト（国） 第2回学校評議員会（PM）
- 16日（水）・17日（木）自然の家研修（5年）
- 17日（木）外国語（支援員）
- 18日（金）クラブ⑥
- 22日（火）授業公開日（人権・同和教育） ラブック号
- 24日（木）メディアコントロールウィーク（～30日）
食の学習（6年）⑤⑥
- 25日（金）ICT授業改善研究指定校公開授業（4年）
- 28日（月）マラソン記録会②
- 30日（水）全校テスト（算）
マラソン記録会予備日③

